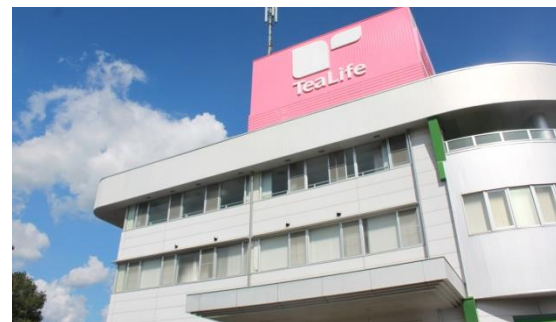




平成29年7月期 第2四半期決算補足説明資料

証券コード：3172



平成29年3月3日(金)

ティーライフ株式会社

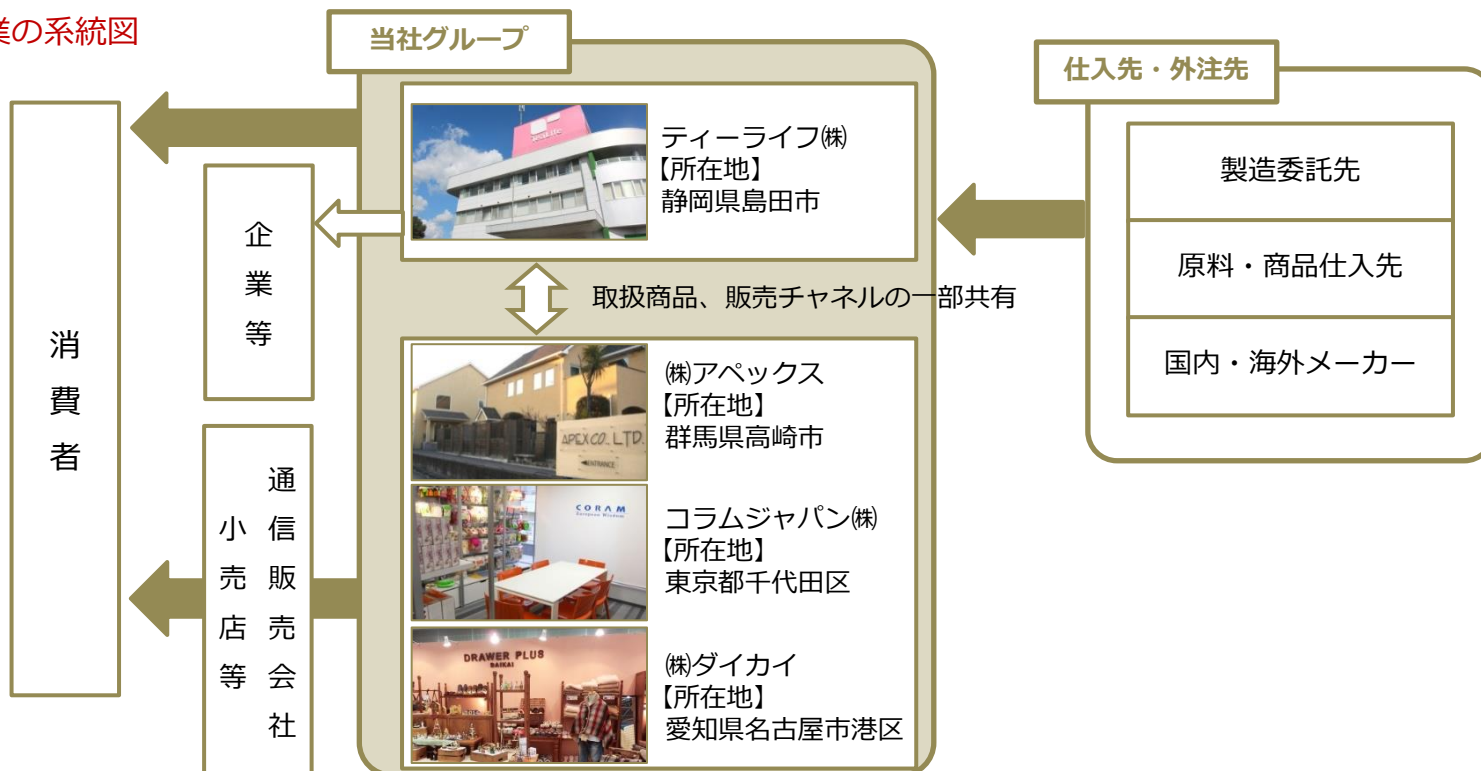
<http://www.tealifeir.com/>

企業集団の状況

◆セグメント情報

セグメント区分	事業区分	主たる会社
小売事業	主に健康茶、健康食品、化粧品を一般消費者に通信販売	ティーライフ株式会社
卸売事業	主に生活雑貨、食品を通信販売会社や小売店等に販売	株式会社アペックス コラムジャパン株式会社 株式会社ダイカイ
その他	不動産賃貸事業：物流センターとして取得した建物の一部を企業等へ賃貸	ティーライフ株式会社

◆事業の系統図



平成29年7月期第2四半期 連結損益計算書



(単位：百万円)

	H28/7月期 第2四半期 実績	構成比	H29/7月期 第2四半期 実績	構成比	前年同四半期比	
					増減	増減率
売上高	3,572	100.0%	3,695	100.0%	123	3.5%
売上原価	1,320	37.0%	1,295	35.0%	△ 25	△ 1.9%
売上総利益	2,251	63.0%	2,400	65.0%	148	6.6%
販売費及び一般管理費	2,064	57.8%	2,160	58.4%	96	4.7%
営業利益	187	5.3%	240	6.5%	52	28.1%
経常利益	195	5.5%	288	7.8%	93	47.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	179	5.0%	279	7.6%	100	56.1%

- 【売上高】** ・安定した売上の基礎となる定期会員数が増加しました。
 (定期会員は継続的な購入をお約束いただき定期的に商品をお届けするお客様のことです。)
 ・楽天市場、アマゾンなど大手オンラインモールにおいて、販売が好調に推移しました。

- 【営業利益】** ・自社製造商品の売上構成比の上昇などにより売上原価率が改善しました。

(単位：百万円)

	H28/7月期 第2四半期 実績	H29/7月期 第2四半期 実績	前年同四半期比	
			増減	増減率
売上高	2,469	2,605	135	5.5%
セグメント利益	151	133	△17	△11.7%

【売上高】

- ・主力商品での新規顧客開拓が進み、「メタボメ茶」の売上が伸長しました。
- ・新商品「チョウ活宣言® 活性フローラ」の販売が好調に推移しました。
- ・自社オンラインショップにおいて、お客様の購入履歴等の情報に基づきおすすめ商品をご案内するレコメンド機能を導入し、売り場の活性化を図りました。
- ・大手オンラインモールにおいて、各モールのイベントに合わせ広告を集中展開するとともに、「ルイボスティー」を重点的に拡販することにより、効率的な集客に加え、モール内でのカテゴリーシェアを拡大しました。

【セグメント利益】

- ・自社製造商品の売上構成比が上がったことにより、売上原価率が改善しました。
- ・配送方法の効率化により荷造運賃が減少しました。
- ・将来に向けた投資として、新商品「チョウ活宣言® 活性フローラ」の販売促進を積極的に展開し、次世代商品の育成に取り組みました。

(単位：百万円)

	H28/7月期 第2四半期 実績	H29/7月期 第2四半期 実績	前年同四半期比	
			増減	増減率
売上高	1,080	1,063	△17	△1.6%
セグメント利益	14	81	66	451.5%

【売上高】

- ・ 北欧寝具ブランド「Danfill (ダンフィル)」から、高機能商品を発売したほか、オリジナルインテリア雑貨「コポーシリーズ」の品揃えを拡充し、既存ブランドの強化、他社との差別化を推進してまいりました。
- ・ 装飾品ブランド「shyness (シャイネス)」や革製品ブランド「pauch pals (ポーチパルス)」等ハイクラス商品の展開を強化し、国内での北欧ブランドの育成に取り組んでまいりました。
- ・ 食品ではお客様のニーズに対応して、組み合わせの選択が可能なセット商品の販売を開始しました。
- ・ 小売事業で取扱っている一部商品の卸売販売を進めたほか、商品展示会への出展や独自展示会の開催により、販路拡大に努めてまいりました。

【セグメント利益】

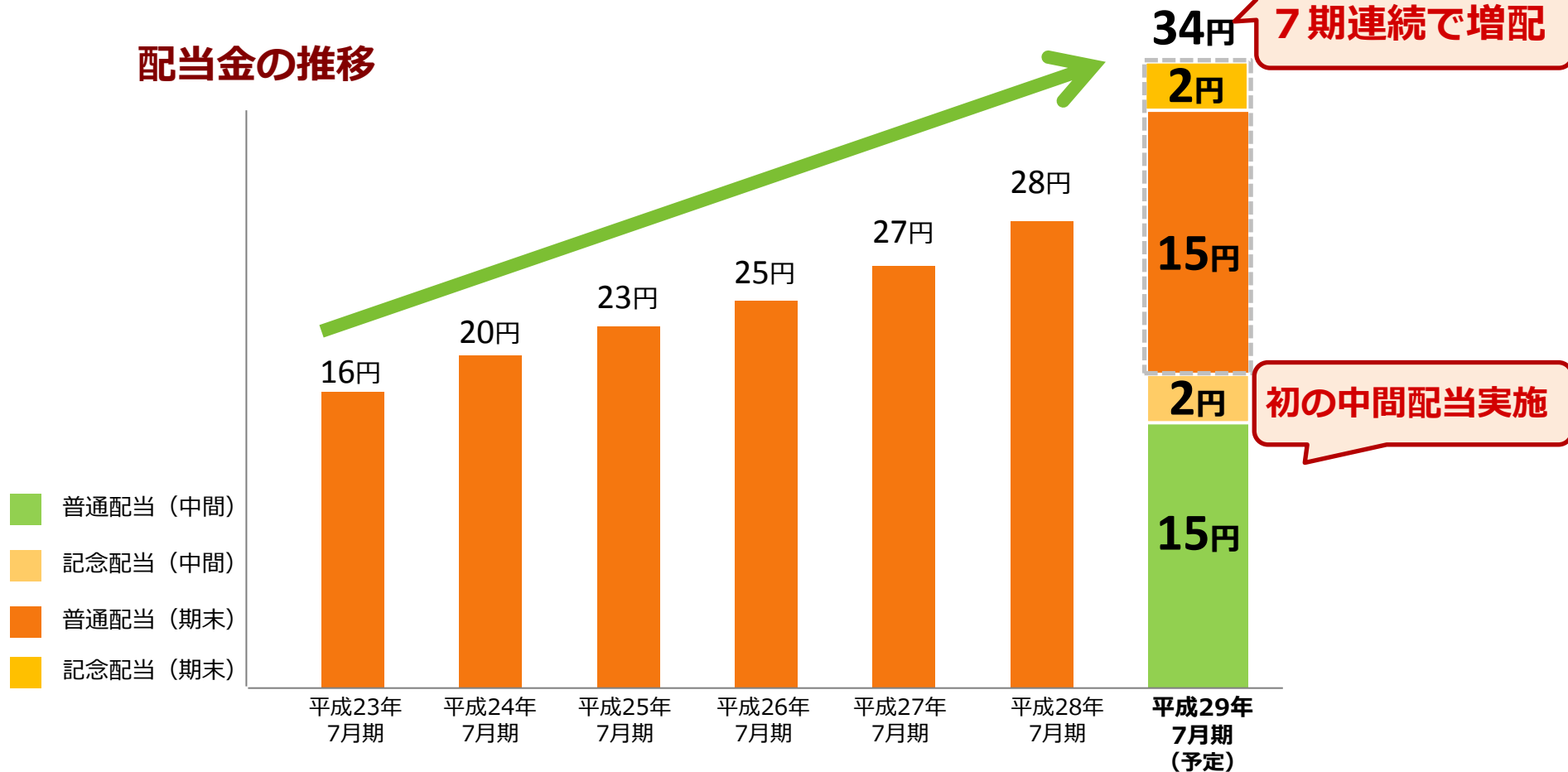
- ・ 為替変動の影響等による売上原価の減少に加え、販売費及び一般管理費が減少しました。

(単位：百万円)

	H28/7月期 実績	構成比	H29/7月期 計画	構成比	増減	増減率
売上高	7,200	100.0%	7,667	100.0%	466	6.5%
営業利益	524	7.3%	630	8.2%	105	20.2%
経常利益	446	6.2%	632	8.3%	186	41.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	336	4.7%	485	6.3%	148	44.1%
1株当たり当期純利益	79.19	-	114.14	-	34.95	44.1%

※通期の連結業績予想につきましては、平成28年9月5日に公表した業績予想から変更はありません。

配当金の推移



※これまで剰余金の配当は、年1回の期末配当のみ実施していましたが、株主の皆様への利益還元を充実させるため、平成29年7月期より中間配当を実施することといたしました。

※平成28年12月5日公表のとおり、東京証券取引所市場第一部銘柄指定を記念し、平成29年7月期の中間配当及び期末配当におきまして、それぞれ1株当たり2円の記念配当を実施することといたしました。

1. 海外市場への積極展開

4月より台湾に現地法人を設立し、台湾でのネット通販による販売活動を本格展開していく予定です。また、中国をはじめとした海外E Cサイトの運営に注力し、販売ルートの拡大を進めます。

2. 次世代主力商品の開発・育成

平成28年9月より本格販売を始めた「チョウ活宣言® 活性フローラ」の販売が好調に推移し、下期では、より積極的に販売促進に取り組んでまいります。
主力客層である50代以上の生活感覚に沿った商品や拡大するアクティブシニア向けの商品の開発を中心に、特定の市場でシェアNO.1となれる差別化された商品の開発・育成を推進します。

3. ネット通販への注力

自社オンラインショップにおいて、画面表示速度の改善をはじめ、快適にお買い物していただける環境づくりに取り組みます。
楽天、アマゾン、ヤフーショッピングなど大手オンラインモールの店舗運営に注力し、ネット通販の継続した成長と収益性の向上を図ります。

4. ブランド価値を高めるコミュニケーション

ダイエットアドバイザーによるダイエットサポートの実施に加え、健康や美容をテーマとしたセミナー、ウォーキングイベント「レッツ東海道五十三次」、お客様との座談会などを開催し、お客様との関係性を深め、ティーライフブランドの向上を図ります。

5. 販売チャネルの拡大

卸売事業において、主力商品の品揃えを拡充し、既存ブランドの強化、他社との差別化を推進します。新たに代理店契約を締結した海外ブランドの商品の展開や販路拡大のための展示会への出展に注力します。



TEALIFE官方旗舰店
(JD Worldwide)



腸内環境に着目した
「麹・茶・乳酸菌」を
組み合わせたサプリメント

【本資料に関する注意事項】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【お問合せ先】

ティーライフ株式会社 管理部
T E L (0547) 46-3459
U R L <http://www.tealifeir.com/>